

「大分大学減災・復興デザイン教育研究センター」とは

1. 所在地 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学産学官連携推進機構棟内
2. 設置時期 平成 30 年 1 月 1 日
3. スタッフ センター長 西園 晃

(理事(研究・社会連携・国際担当)、医学部教授)

センター次長 小林 祐司(理工学部准教授)

運営支援 鶴成 悦久(産学官連携推進機構准教授)

防災コーディネーター 板井 幸則(元臼杵市消防本部消防長)

その他事務補佐員等

4. 設置目的

大分県における防災・減災の実現を目指して、以下の課題に対して、各学部・センターや学外組織(国、自治体等)・関連主体との連携を図りながら取り組み、安全・安心社会構築に資することを目的とする。

- (1) 分野横断型の教育・研究を行い、安全・安心社会構築に寄与する人材・技術者の養成
- (2) 地域防災力向上のための防災教育と活動の支援
- (3) 救援救護や災害調査を柱とした学内外との連携による災害支援・災害調査及び効率的な情報・データの共有化
- (4) 災害後の復旧・復興支援を支える平時からの地域活性化と復興デザインの取組
- (5) その他、地域の防災力向上に寄与し得る取組

5. 取組プロジェクト

(1) 災害支援

ドローンなどの最新技術を活用し、災害情報を迅速かつ機動的に調査・収集し、メカニズムの解明や災害対応のための情報共有・提供、技術的な支援を行う。また、医学部附属病院災害対策室との連携により、災害情報の共有を図る。

(2) 防災教育

地域・学校における防災教育や活動の支援、地域防災イベントを実施する。また学内においては、教養教育科目「防災学」等の開講、ボランティア教育等により、地域防災に資する人材育成のための教育の充実を図る。

(3) 復興デザイン

平時には地域づくりや地域分析、災害後の都市・地域のビジョンを共有するための取組となる「復興デザイン(事前復興)」を実施する。また、災害後の文化財復旧支援、学生ボランティア派遣支援も学内外の組織と連携し実施する。